

電信案

外務省

附近ノ境界ニ付テモ長城ヲ以テ境トスヘキヤ否ヤニ付疑アリ付旁

ノト解シ居レル旨ヲ答ヘタル處右蒙古旗盟ノ問題ノミナラス山海關

包含スルニ非スシテ滿洲ニ接近セル内蒙古ノ旗盟數個ヲ意味スルモ

ルモ前記宣言及通告ニ所謂蒙古各旗盟トハ遠ク外蒙古ノ各旗盟迄ヲ

蒙並蒙古各旗盟ノ範圍ナルモノハ元來明確ニ定メ得ヘキモノニ非サ

別區及蒙古各旗盟ヲ包含スルモノト了解スル旨並滿洲ト蒙古トノ境

依レハ滿洲國ノ領域ハ奉天省、吉林省、黑龍江省、熱河省、東省特

別區及蒙古各旗盟ヲ包含スルモノト了解スル旨並滿洲ト蒙古トノ境

蒙並蒙古各旗盟ノ範圍ナルモノハ元來明確ニ定メ得ヘキモノニ非サ

S 1.1.1.0 -33

3076

0149

Reference.  
対が附律類  
(分) 4.1.1.0.21-12-2)

電信案

外務省

暗 電送第 13721 13721 號

昭和 一年 7 月 14 日 午後 6 時 30 分 發

件 宛  
滿洲國ノ領域ニ關スル件 在長春 田中領事代理

第一四九號

今般聯盟調査委員側ヨリ滿洲國領土ノ境界ヲ承知シ度キ旨申出アリ

タルニ付元來本件ハ我方ヨリ回答スヘキ筋合ニ非サルモ我方トシ

テハ本年三月一日ノ滿洲國建國宣言及三月十二日ノ同國對外國通告ニ

名件録記

發 内田大臣

昭和 七年 七月 十三日 起草

管主 任主

電信課長

S 1.1.1.0 -33

3075

0148

REEL No. A-0179

0089

アジア歴史資料センター

電信案 外務省

テ萬里ノ長城以北ニシテ滿洲ニ接壤セル地域ヲ指シ清朝時代ニ所謂  
 内屬蒙古六盟二部ノ中少クトモ内蒙東部四盟即チ現在ノ熱河省ノミ  
 ナラス察哈爾省ノ一部ヲモ含ムコトトナルノ意味ナリトノ解釋ヲ  
 取ルモノナルヲ以テ滿洲國側ノ境界モ大体之ト一致セシムルコトヲ  
 得ハ好都合ト認ムル次第ナル旨及若シ判然境界ヲ決定スルコト困難  
 ナラハ滿洲國ノ建國ニ參加シタル各旗盟ヲ標準トシ大体ノ主張ヲ決  
 定シ置クコトモ(一旗盟ノ範圍ハ元來明確ナラサル次第ナリ)一案

S 1.1.1.0 -33

3078

0151

電信案 外務省

旁正確ナル境界ヲ滿洲國側ニ肅合セ吳レ間敷ヤト申出テタルニ付(一  
 委員側ニハ滿洲國ハ獨立國タルコトヲ標榜シナカラ其ノ境界モ明ナ  
 ラサルハ不可解ナリトノ口吻ヲ洩スモノアリタルニ付一應之ヲ反駁  
 シ置キタリ)就テハ敍上ノ次第ヲ滿洲國側ニ傳達ノ上同國ノ境界御  
 確メ<sup>御覽</sup>止<sup>御覽</sup>至急回電アリ度尙ホ滿洲國當局ニ於テ本件ニ付未タ確定ノ  
 意見ナキ場合ニハ我方トシテハ大正四年日支條約ニ所謂東部内蒙古  
 ノ範圍ハ元來確定シ居ラサルモ要スルニ内蒙古ノ東半分(大体ニ於

S: 1.1.1.0 -33

3077

0150

電 信 案	外 務 省	ト認メラルル旨我方ノ「サゼツ シ ヨ ン」トシテ滿洲國側ニ傳ヘラレ	タ シ	奉天ハ特電アリタシ							
-------------	-------------	---	--------	-----------	--	--	--	--	--	--	--

S 11,1,0 -33

3079

0152

REEL No. A-0179

0091

第三

特高秘第一六〇〇  
昭和七年七月十五日

昭和七年七月十八日

栃木縣知事 半井 靖

内務大臣 山本達雄殿  
外務大臣 内田康哉殿  
拓務大臣 永井柳太郎殿  
指定府縣 长官殿

國際聯盟支那調查員一行 觀晷

ニ関スル件  
佛國委員 アンリ エッ アール クローデル 將軍  
全秘書 ジュン プレー 氏

右面名ハ外務省門脇事務官ノ案内ニテ本月  
十四日午後三時五十分東武日光驛着電車ニテ  
登見直ニ自動車ニテ金谷ホテルニ入り小憩ノ  
後東照宮ヲ参拝シ午後四時十五分自動車  
ニテ中宮祠ニ至リ華嚴瀧立木觀音中禪  
寺沼ヲ探勝ノ上午後六時三十分全所参拜再ビ  
金谷ホテルニ飯還夕食ヲ喫シ午後七時五十二分  
省線日光駅参上リ列車ニテ退見東京市ニ  
向ヒタリ

本縣ニ於テハ之ガ警戒トシ特高課員警部補一  
名ヲ列車及自動車ニ乗込マシメ嚴重警戒セリ  
米國委員ノランタコス、マツコイ將軍

S 1.1.1.0 -33

3081 0154

S 1.1.1.0 -33

3080

0153

伊國委員コレシコ、ツピー伯氏

外三名

石一行ハ外務省吉田大使、石川事務官ノ案内ニテ  
本月十四日上野駅ヲテ午後四時三十分宇都宮  
駅着、全所ヨリ日光町金谷ホテル差廻シノ自動  
車ニテ途中大澤村、今市、日光町ニ至ル杉並木ヲ  
「ドライブ」シ午後六時七分日光町金谷ホテル着

会場逸委員ハインリツピ、フオンシネー博士

書記長佛人 アーム氏

石ハ外務省永井大使、間瀬事務官ノ案内ニテ  
今日午後七時十分上野駅ヲテ全所ヨリ  
一分日光駅着直ニ金谷ホテルニ入り

乙

米國委員マツコイ將軍等ト行動ヲ共ニシ翌十五  
日午前九時金谷ホテル出、東照宮ヲ参拝ノ上  
午前十一時三十分自動車ニテ中宮祠ニ至リ、エレベ  
ーターニテ華嚴瀧ヲ探勝史レヨリ中禪寺湖、五  
木観音、ヲ探勝シ戰場ヶ原ニ至リ、全所ヨリ引  
返シ昌蒲ヶ原、塩養魚場ニ至リ鱒釣ニ興シ、午  
後一時十分徒歩ニテ龍頭瀧ヲ見物シツ、中食  
ヲ喫シ午後二時十分自動車ニテ全所出、茶全  
三時三十分金谷ホテルニ引返シ、小憩ノ後午後四  
時三十分省線日光駅ヲテ上野駅ニ向  
ケ退暑セリ

警戒ノ状況

列車内ニハ警部若クハ警部補一巡查部長一巡

S 1.1.1.0 -33

3083

0156

S 1.1.1.0 -33

3082

0155

査一、ヲ乗込ムレメ警戒ノ警視廳員ト連絡ヲ  
採リ自動車乗行ニ際シテハ警戒員ヲ運転  
台ニ乗込マシメ警戒セリ  
以上ノ状況ニテ旅行中特異ノ言動ナク  
何等事故無之  
右及申(通)報候也

了

S 1.1.1.0 -33

3084

0157

REEL No. A-0179

0094

アジア歴史資料センター